

Proof Checker PRO Ver.2a から 2b へのマイナーバージョンアップ詳細について

Proof Checker PRO をご愛顧頂き、ありがとうございます。
08/11/28 日付で、下記の修正を含むマイナーバージョンアップを行いました。
バージョン「2a」からのマイナーバージョンアップ詳細は以下の通りです。

● OS 共通

- 同一な文字色を不一致指摘する不具合を修正
- 特定の PDF で、照合結果を PDF 化・出力時に、P C P の付加記号・赤色の波線が黒色に変わる不具合を修正
- 特定の PDF で、照合結果を出力して印字されるファイル名が、赤色または緑色で印字される不具合を修正
- 特定の PDF で、照合結果を保存し、再度開くと、P C P の付加記号・緑色の波線が赤色になる不具合を修正
- 照合を行う PC に中国語のフォントがインストールされているとアプリケーションが起動しないことがある不具合を修正
※上記不具合は照合を行う PDF に中国語が使用されていない場合でも発生しました
- 1 ポイントの線が照合結果で表示されない不具合を修正
- 用紙サイズが異なる PDF を照合した場合、印刷の際に新旧オブジェクトが重なる不具合を修正
- FrameMaker で作成した PDF を照合すると、結果の表示が小さく表示される不具合を修正
- 特定の PDF で、塗りと線のあるパスにマスクが掛かっている場合、イラストの一部が照合結果で表示しない不具合を修正
- 環境設定→表示→オーバープリントにチェックを入れると、オーバープリント設定されていないオブジェクトにもマークが入る不具合を修正
- 環境設定→印刷→自動印刷→横に並べるに設定し、照合を行い、環境設定で縦に並べるに設定変更後、用紙設定の向きを変更し、再度照合を行うと強制終了する不具合を修正
- PNG 圧縮のかかったインデックスカラー画像に対応

● Window 版

- 特定の PDF で照合結果を印刷すると画像の拡大縮小率指摘の数値が旧ファイル側で大きく印字される不具合を修正
- 縦置き印刷時、ファイル名及びページ番号が印刷されない不具合を修正
- 環境設定→表示→不一致で元の濃度が XX%未満なら破線囲みの設定で表示される、黒と黄の破線のマークが、印刷時のみ破線が非常に大きくなる不具合を修正
- 環境設定→印刷→自動印刷設定後に表示されるプリンタの設定ウィンドウでキャンセルを押すと強制終了する不具合を修正

● Mac OSX 版

- MacOS10.5 で自動印刷に設定すると、強制終了する不具合を修正
- MacOS10.5 で連続して出力すると、2 データ目以降が出力されない不具合を修正
- 環境設定→印刷→新旧同一紙面・縦に並べて印刷に設定すると新ファイルしか出力されない不具合を修正
- PowerPC で印刷後、環境設定→表示タブにある項目のチェックをオンオフをすると強制終了する不具合を修正
- フォント「Century」が照合を行う PC にインストールされていると、ファイル照合のファイル読み込み中に強制終了する不具合を修正
- 照合結果表示後、ファイル→印刷を選択し、キャンセルを押すと強制終了する不具合を修正

以上